



<本年度会長方針>

WEEKLY REPORT

あらためてロータリーを考えよう No.1126

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 川畑博敬 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル6F
幹事 田崎雅三 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

第1324回例会

平成23年7月21日(木)
於 名古屋東急ホテル
出席計算数 会員 60名
53名中45名出席
出席率 84・91%
前々回出席率 95・92%

「ロータリーソング」

「我等の生業」

指揮者 鬼頭 茂成
ピアノ伴奏 富板 玲子

「ニコソックス」

委員長の皆様へのご挨拶です。

川畑 博敬
岩崎君一年間御苦労さまでした。
川畑君一年間よろしく。

14日は御無礼致しました！
小笠原和俊
藤田 徹

日比野さん大変お世話になりました。
佐々木 功
誕生月、結婚記念月です。
吉田 憲一

川畑会長、新世代委員の皆様、本日交換留学生の面接ありがとうございました。
岡村 隆徳
家族が結婚するようになりました。
林 富徳

会長挨拶

会長 川畑 博敬

今回より3回、アメリカとEUと日本の問題をお話しします。私は、経済とは将来を読み解く事だと考えています。今からお話

しする内容は1ヶ月前に書いた原稿です。

アメリカと言う国は日本と違って国債の限度額が法律で決められています。1兆2940億ドル、80円として日本円で1兆143兆5200億円でありますが、5月16日の上限に達しておりこれ以上の国債発行が出来ない状態にあります。だから、アメリカ政府は来年の大統領選挙後までに必要な2兆ドル、上限を上げるよう要求していますが共和党の反対で宙に浮いたままです。

共和党の主張は、上限を上げる条件として今更上げると75回目となるのですが、長期的に財政赤字の削減策が合意されない限り応じないとして、民主党が重視している社会保障費の支出を削減しようと主張しています。

民主党は、財政赤字の削減はもつとだけだと、高所得者に対する減税をやめて増税をし赤字を減らそうと主張しています。

この赤字削減策の対立で、今もアメリカ議会はもめたままです。

5月16日以降、公務員の年金のための積立金などを取り崩しているといわれていますが、8月2日までしか持たないそうです。

8月3日には社会保障をつけている5500万人のアメリカ国民に610億ドル4.88兆円。8月4日には、短期国債の償還金300億ドル2.4兆円。8月11日

には、同じく短期国債の償還金270億ドル2.16兆円。8月15日には、国債の利払い256億ドル2.04兆円と支払いが続くのでデフォルトするかもしれない。

中国の3月末時点のアメリカ国債の保有額は1兆1000億ドル日本は9080億ドル、そしてその他外国勢合計でアメリカの国債発行総額の50%くらい買っています。明日7月22日が実質の期限だそこで、アメリカのデフォルトに注意が必要です。この問題は、アメリカの政府が発行する国債の話であって他にもいっぱいアメリカは借金をかかえています。

さて、今日現在はいったんこの国債の上院は上限引き上げに協力する意向を示しているのですが、下院の多数を占める共和党のティーパーティーというグループが増税に強く反対していて決着していません。

国際奉仕委員長所見

加藤 巴彦



今年度、四大奉仕委員会の一つであり、また国際奉仕委員会の委員長という大役を務めさせていただきました。私事で恐縮ですが、ここ最近物忘れが多く、アルツハイマーか狂

牛病ではないかと内心心配しております。私に、この責務が務まるか心配しておりますが、国際奉仕委員会のメンバーとして、宇野副委員長、荻原さん、藤田さん、堀江さんと、そろそろたるメンバーがそろっておりますので、私の至らない点をカバーしていただいで今年度、国際奉仕委員会の活動を進めて参ります。

国際奉仕委員会としては、前年度に社会奉仕委員会が進めていただきましたグローバル補助金を活用したパイロット地区での6つの分野 ①平和と紛争防止/紛争解決 ②疾病予防と治療 ③水と衛生設備 ④母子の健康 ⑤基本的教育と識字率向上 ⑥経済と地域社会の発展 での奉仕活動が今年度の国際奉仕の分野として組み込まれておりますので、このグローバル補助金を活用した活動を引き続き国際奉仕委員会を進めて参ります。

また、先日、今年度の地区協議会の報告会で、3月11日に発生いたしました東日本大震災への義捐金に今年度に限り、グローバル補助金を全額充てる方針であると報告されていたのですが、その後の地区の委員長との話し合いで、当クラブが申請しているグローバル補助金を活用したパイロット地区内での6分野における国際奉仕活動は認められる方向で進んでお

りますので、国際奉仕委員会といたしましては、2009～2010年度西名古屋分区分草野カバナー補佐が提唱された“水と衛生設備”を重点分野と捉え、タイのチェンマイロータリークラブとの協業のもと、タイ北部のチェンマイ県で計画しております。“水と衛生設備”及び“基本的教育と識字率向上”分野でのグローバル補助金を活用した国際奉仕活動を今年度の大きな柱として活動して参ります。

このタイ北部でのグローバル補助金事業は、今年の年末には終了する計画を進めておりますので、来年の2月23日にはタイでのチェンマイロータリークラブと合同例会を実施したいと考えております。

今年度の国際奉仕委員会の柱として掲げておりますグローバル補助金事業は昨年度から来年度までの3年間をパイロット地区での試行事業であり、この施行期間での様々な問題点を認識した上で、より良いグローバル補助金事業の仕組みが出来上がってほしいと思います。

川畑会長の方針は“あらためてロータリーを考えよう”でありますように、今後のロータリーの国際奉仕活動のあるべき姿が変わっていく中で、ロータリーの原点に立ち帰って国際奉仕のあるべき姿を見つめ直すという、3年間の30周

年に向けて当クラブの特色の一つとして国際奉仕活動事業をより良いものにしていきたいと思っております。

また、今年度カルヤン・パネルジー国際ロータリー会長のテーマが“この中を見つめよう、博愛を広げるために”というものです。会長のお話の中で、マハトマ・ガンジーの「世界の変化を望むなら、あなた自身がその変化にならなければならない」という言葉を引用して、改善できること、変えるべきことを勇気をもって見据え、必要な変化をもたらしていくために行動していくかなんてはならないと言っておられました。

世界社会奉仕 (World Community Service) は、2011年の月30日をもち、ロータリー・ボランティア・プログラムとともに終了したこともより中味のある国際奉仕活動にしていきたいための改革であると思っております。

今後は、ロータリー友情交換プログラムを拡張する方向をRーは推奨しておりますが、相手クラブとの友情が出来、交際を重ねる中で、信頼関係が生まれ、金銭などを介在した事業に発展するような国際奉仕プロジェクトのあり方を目標していると思っております。

その観点から、今後も、グローバル補助金を活用した国際奉仕活動事業の美しさを当クラブの特色として

していければと思っておりますので、現在進めておりますタイ北部でのグローバル補助金事業に引き続き、来年度に繋がる第2段のグローバル補助金事業を継続して計画していきたいと考えております。次に識字率向上につきましては、1980年以來、Rーの強調事項で、現在3月を識字率向上月間と定め、この機会に、ロータリアンは識字の問題を再認識し、各クラブや地区は識字率向上に関する認識を高めたり、世界的に非識字を撲滅しようとするロータリアンの努力に対する認識を向上させるところを求めています。

当クラブにおいても、来年3月の識字率向上月間には、この地区の識字率向上委員会の方に例会においていただき、卓話をお願いしておりますので、識字率向上のために識字の問題の認識を深めていただきたいと思っております。

最後に、繰り返しのようですが、国際奉仕委員会としては、今年度の柱と捉えておりますグローバル補助金を活用したタイ北部のチェンマイ県での奉仕活動を、次年度に繋がる国際奉仕活動の基盤として創り上げ、当クラブの特色としてゆきたいと考えておりますので、ロータリアンの皆様のご理解ご協力をお願いいたします。今年度の国際奉仕委員会の委員長所見とさせていただきます。

親睦活動委員長所見



神野 邦利

行き当りのバッテリーで生きてきた私に、手帳にも載っていない来年の予定まで作成しなければならぬ親睦を任せるなんて人選ミスではないかと思っておりますが、私なりに一所懸命努めさせて頂きますので、協力宜しくお願いします。

今期はスピークアウトナイトを活用します。2005年に入会させて頂いて以来、スピークアウトの料理がもったいないなあと思っております。折角の鉄板焼きステーキにしても、お愿いからお酒もなしではなかなか食べる気がしなかつたし、お酒の当てたところまでうだなめと思つ料理が結構あつたからです。

スピークアウトナイトという例会もあるというところを教えてください、単純な私はすぐに飛びつき今期3回催して頂きませう。8月1月(今までは新年例会としていた会ですが)、そして6月の最終例会で予定しております。

前年の鬼頭さんの様な趣味の広さもないものだから、目玉になる催しはありません。

富板さんにバックミュージックをつけて貰うべからいで、目玉は会員同士の話し合ひ、活発な交流と

思っております。

家族忘年会も派手な芸能人など呼ばず、小澤さんをお願いをしてハモンドオルガンの先生をお呼びします。又ちよつとしたアトラクションをやるつもりです。家族旅行もいろいろと考えております。5月を予定しております。又、3月にも夜間例会を開催する予定です。

今期、親睦活動委員は副委員長の日比野さんを始め近藤(宏一郎)さん、伊藤さん、杉浦さん、青木さん、林(順治)さん、あと住田先生、丹下(信義)さんで皆様のお役に立てる様頑張つて行きますのでよろしくお願ひします。

(委員長所見後半は次号以降に掲載します。)

8月4日(木)例会の案内

例会委員 同日

SALAKOONZIGIT

於 名古屋東急ホテル

4F「雅の間」

*18時00受付

18時30分例会開始

広報委員会

酒井 修・吉田 明夫
松永 裕子・小野 定男

*本文は、原則、頂いた
原稿を転載しています。